

## プレスリリース 調査レポート

2021年5月17日

# 統計解析により 生活者の食の受け入れ構造と今後の拡大市場を探る 2025年、2030年、2035年需要予測

今後伸びる食品カテゴリーは何か  
コーホート分析、年齢・体験効果分析による推計データを販売

JNNデータバンク販売代理店 株式会社ジェーディーエス（所在地：東京都新宿区 代表取締役社長 鈴木正光 以下「JDS」）は、1971年より半世紀に亘り「全国生活者の意識・行動」をベンチマークしているJNNデータバンク全国調査、また同様の時系列を有する東京・阪神エリアにおける「好み」調査、「TBS総合嗜好調査」より食関連項目約250カテゴリーを取り出し、2025年、2030年、2035年の需要予測を行った。「食品・飲料カテゴリー・コーホート分析・将来需要予測」分析データを販売いたします。

本リリースでは、分析事例として、「チョコレート」（JNNデータバンク 「ふだん食べたり、使っているもの」より）の結果を掲載します。

図1 コーホート分析結果

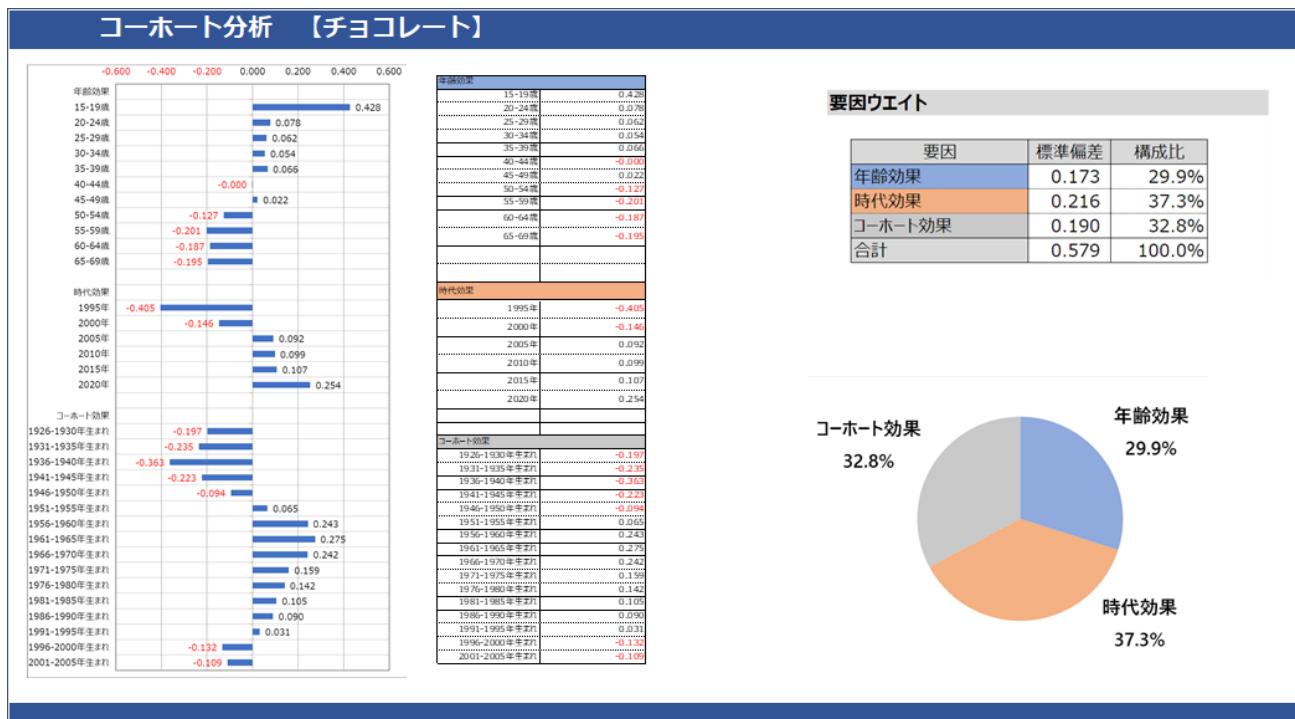


図2 年齢・体験効果分析



図3 将来需要データシート

**年齢体験効果分析推計値より将来需要データシート**

項目： ふだん食べたり、使っているもの

【チョコレート】

年齢	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
15-19歳	4377	4047	3972	3787	3201	3024	3018	3063	2948
20-24歳	3895	4083	4084	3279	2852	2921	2684	2811	2907
25-29歳	3835	4584	4185	3718	3422	3152	3162	2922	3068
30-34歳	3544	4284	5040	4587	3611	3414	3486	3447	3277
35-39歳	3632	3851	4801	5020	4253	4053	3775	3727	3749
40-44歳	3223	3662	4365	4382	5263	4394	4231	4001	3961
45-49歳	3287	4008	3964	4480	4552	5676	4977	4624	4331
50-54歳	2552	3608	3748	3680	4171	4866	5540	5016	4695
55-59歳	1787	2606	4209	3784	1672	4200	4946	5809	5268
60-64歳	1834	2229	3184	3954	3739	4000	4571	5289	6218
65-69歳	1451	2099	2406	2966	4297	4273	4107	4985	5240
計	33487	39057	43952	47873	43082	43973	44469	45014	45677

**市場ボリューム (千人)**

**予測反応(個体計)**

年齢	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
15-19歳	511	53.0	60.2	61.0	52.9	53.6	56.4	60.8	61.7
20-24歳	393	48.4	55.3	50.3	46.8	47.4	46.6	51.4	56.4
25-29歳	43.6	46.7	50.3	50.2	52.4	51.1	50.6	50.0	55.2
30-34歳	43.6	48.7	51.5	54.5	48.8	52.2	55.9	55.1	54.9
35-39歳	46.4	47.4	54.7	50.9	50.5	54.9	57.9	60.4	60.0
40-44歳	35.8	45.8	53.8	52.0	53.4	52.4	57.9	61.6	64.4
45-49歳	30.9	44.8	51.1	55.5	51.9	58.0	59.7	63.4	67.3
50-54歳	28.6	34.5	42.4	47.9	52.0	56.1	57.2	60.8	64.8
55-59歳	22.4	29.8	40.9	43.4	48.3	53.2	57.9	60.8	64.7
60-64歳	24.5	28.8	37.1	39.1	43.7	53.9	59.2	63.2	66.4
65-69歳	22.7	29.5	32.2	35.6	44.0	51.9	57.3	61.4	64.6

**市場ボリューム (千人)**

チョコレートについて、年齢効果を見ると40歳代までが需要の主体者となっている。時代効果をみると2005年からプラスに転じているこのあたりは海外からの高級手作りチョコが話題になり、製菓メーカー大手明治製菓(現明治)が「100%チョコレートカフェ」などをオープンさせ話題となった。

世代は1960年代1970年代を中心となっている。時代効果との関連を見ると、ちょうど彼らが30歳代時にあたりブームを支えたと思われる。

「2020年には、世界のカカオ豆の生産量が需要を下回り、100万トンが不足する。チョコレートは庶民に手が届かない高価なものになる可能性がある」との情報が広がり話題となった。

今後の需要は年齢効果として若年層の需要が下支えになるものの、現時点の需要中心世代を捉えてゆく必要があると考えられる。加えて時代に即した需要喚起も重要である。グラフ推移をみると現在最大需要の40代後半はシルバーリング傾向となり同年代への訴求よりもこの世代を捉える訴求が重視される。

## JNNデータバンク編 分析対象カテゴリー 全109カテゴリー

ふだん食へたり、使っているもの	好きな食べ物	ふだん飲むもの
1 アメ、キャンディー、ドロップ	26 黒物類	1 100%果汁ジュース
2 あられ、せんべい	27 お餅（うどん、そば、そめんなど）	26 茶葉酒（・命酒・陶々酒など）
3 インスタント味噌汁	28 魚肉缶詰（ソナ以外）	27 茶葉（ティーバッグを含む）
4 お茶づけの茶	29 市販のつけもの	3 ワイキー
5 カップヌードル（カップヌードルなど）	30 即席カレー	4 ウーロン茶
6 ケチャップ	31 即席シチュー	5 コーヒー牛乳
7 ジャム	32 四季野菜（インスタントラーメン、そばなど）	6 コーラ
8 スープの素（スープ、インスタントスープ）	33 納豆	7 ココア
9 スナック類	34 氷菓（アイスキャンディーなど）	8 サイダー
10 ゼリー	35 洋菓子	9 ジン・ウォッカ
11 チーズ	36 冷凍加工食品	10 スポーツドリンク
12 チューリングム	37 和菓子	11 チューハイ・梅ハイ
13 チョコレート	38 しおから	12 マトマ・トシユース
14 ねりもの（かまぼこ、ちくわなど）	39 ハンバーガー	13 ドリンクヨーグルト
15 パスタ	40 ホットドッグ	37 新ジャンルのビール（合衆など）
16 パター		14 ハーブティー
17 ハム、ソーセージ		15 ビール
18 ピスケット、クラッカー		16 ブランティー
19 ふりかけ（あわむすび用を含む）		17 ミネラル・ナチュラルウォーター
20 ブリン		18 レギュラーコーヒー
21 マーガリン		19 酒・健康酢
22 マヨネーズ		20 清酒
23 ヨーグルト		21 豆乳
24 レトルト食品		22 日・茶
25 果物缶詰		23 乳酸菌飲料（ヤクルトなど）
		24 温緑乳酸飲料（カルビスなど）
		25 野菜ジュース

## 総合嗜好調査編 分析対象カテゴリー 全131カテゴリー

好きな料理	好きなごはんもの・めん類・パンなど	好きな料理・おかず	好きな冷凍食品
1 和風家庭料理	1 ぎりし	21 ホットドッグ	1 エビフライ
2 洋風家庭料理	2 のりまき	22 ハンバーガー	2 その他の魚介類フライ
3 中華家庭料理	3 ちらしずし	23 五目めし・まぜめし	3 クリームコロッケ
4 日本料理	4 天丼	24 おしずし・大阪めし	4 ハンバーグ
5 フレンチ料理	5 かつ丼	25 ピラフ	5 肉丼・あんまん
6 イタリア料理	6 鶏子丼	26 焼めし（チャーハン）	6 グラタン
7 中華料理	7 牛丼	27 おかゆ・ぞうすい	7 フライドポテト
8 エスニック料理	8 中華丼	28 ひやわさ・そうめん	8 ポテトコロッケ
9 別鮮・韓国料理	9 釜めし	29 手巻きめし	9 シュマイ
10 その他の料理	10 茄瓶	30 中華そば・ラーメン	10 ミートボール
	11 たこごみごはん・かやくごはん	31 冷し中華・つけ麺	11 ギョーザ
	12 カレーライス	32 食パン・イギリストパン	12 春巻
	13 お茶漬	33 いなり寿司（しののめし）	13 ピラフ・チャーハン
	14 日本そば	34 ハヤシライス・ハッシュドビーフ	14 焼きあにぎり
	15 うどん	35 お好み焼き・たこ焼き	15 米飯・赤飯
	16 焼きそば	36 あわむすび・おにぎり	16 便当・つくね
	17 グラタン	37 スパゲティ・パスタ	17 お好み焼
	18 フランズパン		18 たこ丼
	19 クロワッサン		19 たい焼
	20 サンドwich		20 枝豆
			21 冷麺麺（ブルーベリーなど）
			22 スパゲティ・パスタ
			23 うどん
			24 シーフードミックス

今回販売される「食品・飲料カテゴリー・コーホート分析・将来需要予測」分析データはJNNデータバンク、総合嗜好調査のデータベースごとに別売りとなっています。

提供物と価格など、詳細につきましては下記、サイトからご確認願います。

<https://www.jds.company/wp-content/uploads/2021/05/Food-Forecast-2021may.pdf>

### <JNNデータバンク>

TBSテレビをキー局とする全国28社のテレビ局(JNN系列)が、毎年共同で行っている総合ライフスタイル調査です。

調査対象は、北海道から沖縄にいたる全国の都市部に住む約7,400名の13歳～69歳一般男女を調査対象とし

国勢調査に基づく無作為サンプリングにて1971年の第1回調査以来、50年を超える調査実績を持つ、膨大なライフスタイル項目について、他に例を見ない時系列データを蓄積しています。

年に3回の追加調査（首都圏）も実施しており、タイムリーなテーマにも対応しています。

JNNデータバンクは、参加企業を募集しております。お問い合わせは、販売代理店のJDSまで。

※2012年より、Japan-VALS™軸で集計ができるようになりました。

※2014年より、札幌・首都圏・名古屋・関西・福岡の5地区は70～74歳が調査対象に加わりました。

### <TBS総合嗜好調査>

1975年に第1回調査以来、生活者の日常生活に密接な関係をもつ様々な物事に対しての「好み」を調査しています。「好きな料理」から「季節のイメージ」、「なるほどと思うことわざ」など約8500項目に及び他に類のない幅広さ、詳しさ、ユニークさをもつ調査データであり、この調査の「好み」の定量化、変化の測定は生活者インサイトや今後の市場を検討する上で有用なマーケティングデータベースとなっています。

### TBSテレビ「TBS生活者データ」紹介

<http://www.tbs.co.jp/research/>

### JDS 提供サービス

<http://www.jds.company/service/>

#### ■会社概要

商号	: 株式会社ジェーディーエス
代表者	: 代表取締役社長 鈴木 正光
所在地	: 〒160-0004 東京都新宿区四谷2-11 龍文堂ビル4F
設立	: 1973年4月1日
URL	: <a href="http://www.jds.company">http://www.jds.company</a>

#### 【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社ジェーディーエス 企画開発部

担当：新井

Tel : 03-3358-1601

E-Mail : [info@jds.ne.jp](mailto:info@jds.ne.jp)